

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都台東区寿1-5-10 1510ビル3階  
団 体 名 特定非営利活動法人ジャパンハート  
代表者職・氏名 理事長 吉岡 春菜  
電 話 番 号 03-6240-1564

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人ジャパンハート
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

年間を通して台風の接近数が多く、複数の活断層がある九州地域において、災害が起こった際に迅速に被災先に支援が届く地域体制の構築。また、SDGsの普及啓発が広がる佐賀県において、ジャパンハートの活動を通じて実際にある不平等の改善に社会貢献が出来ることで、SDGsアクション人数・寄与が高く、グローバルな視点を持つ人材を排出する県を目指す。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県をハブとした災害支援体制を構築することで、自然災害等の発生時に迅速に医療支援を実施することができ、県民の被害の拡大をおさえるための準備が整った。  
SDGsの教育が広まる中で、グローバル視点を持つ人材が育成されることで、幅広い視野と多様な価値観を還元することが出来た。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

佐賀県内で災害支援活動を行うメンバーが、令和6年能登半島地震の災害支援に参加し、医療支援活動を行った。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)





(別記3) 寄附金活用額

<b>【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)</b>		<b>15,608,326</b>
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	15,608,326
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	15,356,054
	前年度控除額(県事務経費)還付分	252,272
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

<b>【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)</b>		<b>15,608,326</b>
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	13,637,682
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,970,644
	返礼品等の調達に係る費用	1,810,474
	返礼品等の送付に係る費用	27,520
	広報に係る費用	89,090
	事務に係る費用	43,560

<b>佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)</b>	<b>0</b>
-------------------------------------	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.japanheart.org/about/financial-report/>